

第 22 回国立精神・神経医療研究センター脳神経内科夏季臨床研修セミナー申込用紙

後述の説明文をよく読んで記載してください。

フリガナ 氏名 《旧姓》	《オンデマンド参加者で振込名義に旧姓を使用する場合にご記載ください》
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性 <input type="checkbox"/> その他
連絡先メールアドレス	
セミナー当日に連絡がつく 携帯電話番号	
生年月日(年齢)	西暦____年__月__日(____歳)
参加形態	<input checked="" type="checkbox"/> 現地参加希望 <input type="checkbox"/> オンデマンド視聴希望
駐車券 自家用車でいらっしゃる方には 駐車券(1日100円)を配布いたします。	希望する 希望しない
勤務先名称	
勤務先住所	〒 (郵便番号は必ずご記載下さい)
勤務先電話番号	
卒業大学/大学卒業年	____大学/ 西暦20__年3月卒
医学部学生は所属大学	もしくは ____大学 医学部__年生
神経学会専門医資格	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
電気生理実習 ※現地参加者のみ対象。 ※簡単な説明を後述していますので、ご覧になってから選択してください。ご希望に添えない場合があることをご了承ください。	①上級者 ②中級者 ③初学者 第1希望____ 第2希望____
電気生理検査習熟度 ※現地参加者のみ選択してください。 ※グループ振り分けの参考にします。	習熟度____(A-Eで記載してください) A. 一人で筋電図を実施できる B. 反復刺激検査や blink reflex が自分でできる C. 初歩的な神経伝導検査なら自分でできる(伝導速度, CMAP, SNAPを理解している) D. 神経伝導検査の見学はしたことはあり, 原理も理解しているが自分一人ではできない

日程

2026年7月20日(月)祝日

9:45－9:55 来場者案内&Ice breaking

9:55－10:00 オリエンテーション(小田真司先生)

10:00－10:50 はじまりの挨拶＋座学①脳神経内科総論(高橋祐二先生)50分

11:00－11:40 座学②不随意運動の診断と治療(向井洋平先生)40分

11:40－12:20 昼食

12:20－13:00 座学③MSとNMO(山村隆先生)40分

13:10－13:50 座学④認知症治療(岩坪威先生)40分

14:00－14:40 座学⑤神経遺伝学(佐藤奈穂子先生)40分

14:50－15:50 患者診察指導

16:00－16:40 座学⑥小脳失調症(水澤英洋先生)40分

16:50－17:30 電気生理講義(岡本智子先生)40分

17:40－18:40 症例検討会 60分

18:50－20:00 懇親会(ユニバーサルホールで開催)

2026年7月21日(火) 平日

8:30－9:10 座学⑦神経病理(高尾昌樹先生)40分

9:20－10:00 座学⑧神経画像(重本蓉子先生)40分

10:10－10:50 座学⑨PDと類縁疾患(弓削田晃弘先生)40分

11:00－11:40 座学⑩神経治療学(戸田達史先生)40分

11:40－12:10 昼食 30分, レジデントの1週間、当院での研修の紹介(山川先生)

12:20－13:00 当センター研究所見学 40分

13:10－13:50 座学⑪筋疾患(大矢寧先生)40分

14:00－14:40 座学⑫てんかんと脳波(金澤恭子先生)40分

14:55－15:45 電気生理実習(1回目)と選択実習(前半)(50分)

16:05－16:55 電気生理実習(2回目)と選択実習(後半)(50分)

17:05－17:30 修了証書授与、終わりの挨拶、アンケート 25分

※青字は現地参加者のみが対象となります。

応募について

- 本セミナーは「脳神経内科学をもっと深く学びたい・臨床と研究の最前線に触れたい」と思っている若手医師/医学部生を対象としています。具体的には卒後 10 年目以内の、脳神経内科専門医資格取得前の方を想定しています。
- 申し込み方法は、Google フォームから行ってください。Google フォームを使えない場合は、当院ホームページから申込用紙をダウンロードし、必要事項をすべて記入してからメールアドレス seminar_neuro@ncnp.go.jp へ送ってください。向井洋平もしくは勝元敦子もしくは小田真司が 3 日以内に返事をいたします。もし返事が届かない場合は、当施設のインターネットセキュリティの干渉で当方へメールが届かない、迷惑メール認定されているなどの可能性があります。電話にてご確認ください(平日日中の代表連絡番号 042-341-2711→向井/勝元/小田につないでください)。
- 「現地参加」と「後日のオンデマンド視聴」の選択式です。現地参加の方も後日オンデマンド視聴はできます(追加料金なし)。オンデマンド視聴は 2026 年 10 月頃-2027 年 5 月末までの期限付き公開を予定しています。セミナー当日のリアルタイム配信はありません。募集人数は現地参加 30 名まで、オンデマンド視聴 100 名までです。締め切りは 2026 年 6 月 14 日(日)です。申込受付終了後、抽選を行います。
- 現地参加者の受講料は 10,000 円、当日現地で現金でのお支払いをお願いします。2 日間の昼食と懇親会の代金も含まれています。(1 日目の夕食は懇親会にご参加ください。2 日目の朝食はついていません。)
- 日本各地の先生方に参加していただきたいと考えておりますので、現地参加者は 1 施設あたり最大 3 人までとさせていただきます。
- オンデマンド視聴者の受講料は 8,000 円、事前の振り込みをお願いします。申し込みいただいてから、振込口座をお伝えします。振込者名義が旧姓の場合、申込用紙にも旧姓をご記載ください。
- キャンセルの場合は他のキャンセル待ちの希望者に参加していただきたいと思っておりますので、早めの連絡をお願いします。オンデマンド視聴のキャンセルは 2026 年 7 月 19 日までにしていただくと、振込手数料を引いた金額を返金いたします。2026 年 7 月 20 日以降のキャンセルはできません。
- メールでの申し込みの場合は、申込用紙は最初の 2 枚だけにかまいません。
- 研究所見学、選択実習の希望は可能な範囲で調整いたしますが、希望者が偏った場合は基本的に先着順となります。電気生理実習は経験と希望を考慮して調整します。いずれも希望通りにならない可能性があることはご理解をお願いします。

座学「てんかんと脳波」について

実際の脳波を提示しながら、脳波判読について学びます。実例の解釈・診断が中心となるため、脳波に関する知識が全くないと講義内容を難しく感じると思われます。自信のない方は、簡単な医学書でかまいませんので事前予習をお願いします。お勧めは「飛松 省三. 脳波判読ナビ. 南山堂, 東京, 2016」

選択実習と電気整理実習は同時進行いたします。前後半に分かれており、例えばある参加者は

	電気整理実習	選択実習
前半		①②③④のいずれか
後半	初学者, 中級者, 上級者のいずれか	

別の参加者は

	電気整理実習	選択実習
前半	初学者，中級者，上級者のいずれか	
後半		①②③④のいずれか

となります。

選択実習について

日常診療の場で，専門家による指導を受ける機会が少ないと思われる内容をそろえました。

- ① 初学者でもできる嚥下造影検査：嚥下機能評価の方法について概説します。嚥下造影検査の実施方法とその評価方法について学びます。
- ② 初心者のためのボツリヌス毒素治療法～エコーガイドを添えて～：どのような症状に対しどこへどれだけ投与すればよいか，具体的な使用法について学びます。エコーガイドでの注射法についても触れます。全くボツリヌス毒素製剤注射の経験がないような先生が主な対象です。
- ③ 臨床研究：臨床研究に興味があるけれども，どのように手を付けたらよいかわからない先生が参加するとよいでしょう。臨床研究のテーマの設定から研究計画作成までについて学びます。
- ④ パーキンソン病治療薬の使い分け：パーキンソン病治療薬は種類が多く，どのように使い付けたらよいか，どのくらいの量を処方すればよいのか，どう組み合わせればよいかわからないという先生が対象です。具体的な処方について学びます。なお2日目の座学⑨PDと類縁疾患（弓削田晃弘先生）では，パーキンソン病治療薬については触れません。

電気生理実習について

上級者：実際の患者に検査を行いつつ，針筋電図検査結果の手技や解釈について学びます。希望者数があまりに少ない場合は中級者・初学者コースのみの開催となることがあります。

中級者：一般的な神経伝導検査については知識・経験がある先生方が対象です。反復刺激試験やblink reflexなどについて学びます。

初学者：初歩的な神経伝導検査の手技，波形を綺麗に出すためのコツ，トラブルシューティングなどについて学びます。

申し込み・問い合わせ・キャンセルの連絡等

国立精神・神経医療研究センター病院脳神経内科

第21回脳神経内科短期臨床研修セミナー実行委員会 向井洋平 勝元敦子 小田真司

seminar_neuro@ncnp.go.jpまで